

公益財団法人 8020 推進財団

平成 27 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 成人（就業）前歯周病教育事業

2. 申請者名： 一般社団法人 静岡県歯科医師会
代表者氏名 柳川忠廣
担当者氏名 柏木秀俊・太田義隆

3. 実施組織： 一般社団法人 静岡県歯科医師会・静岡県歯科衛生士会
学校法人染葉学園 東海福祉専門学校 こども福祉学科
学校法人鈴木学園 中央歯科衛生士調理製菓専門学校 調理経営学科

4. 事業の概要：

近年、小中学生から歯肉炎の発症が多く見受けられ、若年者からの歯周病も増加傾向にある。現在、小・中学校では学校教育や学校保健活動の中で学校歯科医・養護教諭等が歯科保健教育を行っているが高校生以上では実施されていない。

そこで、若年者の口腔環境の維持及び自ら健康を管理し改善していく資質や能力を養い、健康寿命の延伸に寄与することを生徒自身に認識してもらい、このことを本事業の目的とした。

5. 事業の内容：

静岡県歯科医師会よりモデル校を選出し、磐田市の学校法人染葉学園東海福祉専門学校、三島市の学校法人鈴木学園中央歯科衛生士調理製菓専門学校の 2 校を対象に実施した。

成人（就業）前歯周病教育事業対策委員会を立ち上げ、準備、講師選定、内容、時間、協議評価を行った。

講演、記録、写真撮影、ブラッシング指導、アンケート調査、資料説明、評価を実施。講師はパワーポイントのスライドを用意し、懇切丁寧に講演を行った。内容として口臭、歯周病の病態、症状、原因、歯周病と全身疾患（生活習慣病）の関係、糖尿病と歯周病、誤嚥性肺炎と口腔ケア、歯周病の予防法と治療、健口習慣、定期健診の重要性等を説明した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

質疑やアンケート結果を踏まえ、歯周病が生活習慣病であり、どのような病気であるかが理解できていると評価できる。しかし授業を受ける前の生活習慣から考察するとたやすく定期健診やプロフェッショナルケアを受けるかどうかは未知数である。歯周病予防をより深く理解させるには繰り返し教育活動や啓発活動が必要である。今後はこのような活動を継続していくと共に、国・自治体・地域・家庭が口腔の健康、全身の健康を常に意識しながら共に活動していくことが重要である。知識を与えるのみならず生徒自身で口腔の健康について考え、お互いに討論し検討する機会を持つべきであると考えます。